

USB 指紋認証ユニット・ユーティリティガイド

はじめに

USB 指紋認証ユニットは弊社製アクセスポイント (LWN-A54APS) に接続して、以下の 2 つの機能を実行することを目的としています。

1. アクセスポイントと弊社製無線 LAN カード (LWN-A54CBS) がスマート認証を行う時に、本 USB 指紋認証ユニットをアクセスポイントに接続して、ユニットに登録されている指紋により、スマート認証の許可を行う。(1 . 指紋認証 (BIO) モードでの設定について)

注：上記機能は他社製のアクセスポイント、無線 LAN カードには対応していません。

2. 他社製の無線 LAN カードと弊社製アクセスポイントとの通信の際に、手動で設定する SSID、暗号キー、MAC アドレスの値の交換を付属のソフトウェア「Logitec Connection Helper」を使用して、入力サポートを行なう。(2 . 簡易認証時の使用方法について)

本書では、この 2 つの機能を使用するために必要な設定方法についてご説明いたします。

目次

1 . 指紋認証 (BIO) モードでの設定について	2
1 . 1 ユーザーの登録	4
1 . 1 . 1 マスター (1) の登録	5
1 . 1 . 2 その他のユーザーの追加	8
1 . 1 . 3 子キーの作成	12
1 . 2 指紋認証 (BIO) モードでの使用手順	15
1 . 3 USB 指紋認証ユーティリティについて	18
1 . 3 . 1 起動と終了	18
1 . 3 . 2 「登録 / 管理」タブ	19
1 . 3 . 3 「バージョン情報」タブ	21
1 . 3 . 4 「起動方法」タブ	22
2 . 簡易認証時の使用方法について	23
お問い合わせについて	33

1 . 指紋認証 (BIO) モードでの設定について

USB指紋認証ユニットを、弊社製アクセスポイントの指紋認証 (BIO) モードで使用するためには、マスター (管理者) の指紋をUSB指紋認証ユニットに登録しなければなりません。指紋の登録は、一番初めのユーザー (マスター) だけアクセスポイントの設定画面から行い、それ以降の登録はUSB指紋認証ユニット付属の「USB指紋認証ユーティリティ」を起動して行ないます。

アクセスポイントの設定画面からマスターの指紋登録を行なったUSB指紋認証ユニットは、「**マスターキー**」(アクセスポイントの設定画面上で照合すると「**親指紋認証ユニット**」) となります。

- ・ **マスターキー**とは、アクセスポイントにて登録された指紋が登録されているUSB指紋認証ユニットのことを指します。
マスターキー内には最大3人までの**マスター** (管理者) の指紋と、8人までの**ゲスト**の指紋を登録しておくことができます。また、マスターキーのマスターとして登録された人は、別の弊社製USB指紋認証ユニットを**子キー**として作成することができます。
- ・ **マスター**とは、アクセスポイントに接続して指紋認証を行うことができる他、USB指紋認証ユーティリティを使用してクライアントパソコン上で、新しいユーザーの追加、別のUSB指紋認証ユニットの登録 (子キーの作成) 、各種設定の変更や編集ができるユーザーを指します。
- ・ **ゲスト**とは、アクセスポイントに接続して指紋認証を行うことはできますが、USB指紋認証ユーティリティの起動や設定の変更などを行なうことができないユーザーを指します。
- ・ **子キー**とは、マスターキーとして登録されたUSB指紋認証ユニット以外の弊社製USB指紋認証ユニットで、「USB指紋認証ユーティリティ」を使用して子キーとして作成されたものを指します。
子キー内には、最大3人までのサブマスターの指紋と、8人までのゲストの指紋を登録することができます。サブマスターは、子キー内にゲストを作成する権限を持ちます。子キーのゲストの権限はマスターキーのゲストと同様、指紋認証を行うことはできますが、USB指紋認証ユーティリティを起動して設定の変更などを行なうことはできません。

Point**ポイント** : 集中管理と分散管理

USB指紋認証ユニットを使用してスマート認証による通信の管理を行なう場合、以下の2つの管理方法が可能です。

- ・ 同じUSB指紋認証ユニット内に複数のマスターおよびゲストを作成する(集中管理)

USB指紋認証ユニット1台に複数のユーザーを登録させることで、1台のUSB指紋認証ユニットで複数のユーザーが指紋認証を行なうことができます。

ただし、それぞれのユーザーが自分のUSB指紋認証ユニットをもたないので、複数のアクセスポイントを使用して広範囲をカバーするネットワークを構築した場合、(例えばビルの1階から5階までを5台の弊社製アクセスポイントで設定情報を共有し、指紋認証(BIO)モードによるセキュリティが設定されている場合)、USB指紋認証ユニットが1台しかない、認証のたびに特定の場所(USB指紋認証ユニットがある場所)へ行かなければならないので、利便性が低くなります。

- ・ 別のUSB指紋認証ユニットを子ユーザーとして登録する(分散管理)

マスター指紋を登録したUSB指紋認証ユニット(マスターキー)を使用して、パソコンのユーティリティ上で子キーを作成し、複数のUSB指紋認証ユニットで、アクセスポイントの指紋認証を行うことができるようにするのが分散管理となります。広範囲をカバーするネットワークを構築した場合は、分散管理が有効です。

1.1 ユーザーの登録

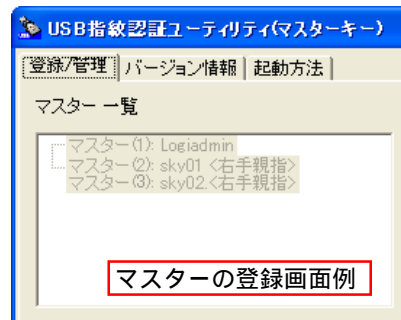
ここでは、USB指紋認証ユニットへユーザーの指紋を登録する方法についてご説明します。登録を行なう前に、お使いのパソコンにUSB指紋認証ユーティリティがインストールされていることをご確認ください。

登録の前に... - ユーザーの種類について -

USB指紋認証ユニットに登録可能なユーザーは、大別してマスターとゲストとなります。ゲストとして登録されたユーザーは、指紋認証による通信の許可を行なうことはできませんが、設定の変更や指紋認証ユーティリティの起動はできません。マスターは、登録する順番により、以下の3種類に分類されます。USB指紋認証ユーティリティ上では、一見すると区別がつきにくいのですが、以下のように分類されると覚えておいてください。

1. 一番初めにUSB指紋認証ユニットに登録するマスター(1)

このマスターの指紋はアクセスポイントの設定画面経由で登録します。登録されたマスターは、USB指紋認証ユーティリティ上では、「マスターキー」の「マスター(1)」として認識されます。このマスターからは子キーの作成や、ユーザーの登録・編集をすることができます。このマスターは、USB指紋認証ユニットを初期化しない限り削除することはできません。

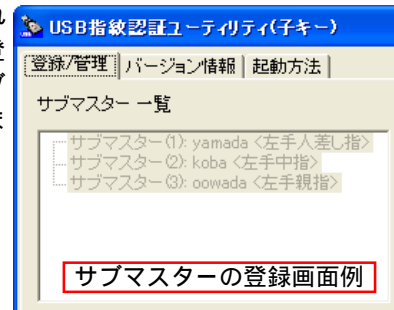


2. 「マスターキー」内に登録するマスター(2)、マスター(3)

パソコン上でマスターキー内に登録するマスターがこれにあたります。このマスターからは子キーの作成や、ユーザーの登録・編集をすることができます。このマスターは削除が可能です。

3. 「子キー」に登録するサブマスター

パソコン上で子キー内に登録するマスターがこれにあたります。このマスターからはユーザーの登録・編集をすることができます。子キー内のサブマスターからは別の子キーをつくることはできません。このサブマスターは削除が可能です。



1.1.1 マスター(1)の登録

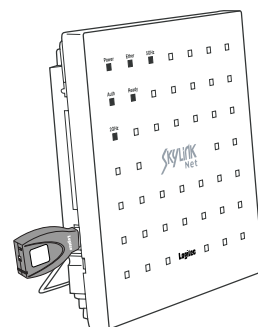
マスター(1)の登録は、弊社製アクセスポイントLWN-A54APSの設定画面を起動して行ないます。以下をご参照ください。

弊社製アクセスポイントLWN-A54APSのUSBシリーズAポートへUSB指紋認証ユニットを接続してください。アクセスポイントが指紋認証しにくい場所に設置してある場合は、付属のUSB延長ケーブルを使用して接続することも可能です。



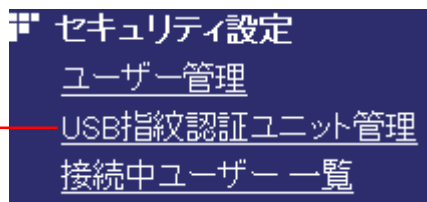
ご注意

アクセスポイントを起動する場合は、USBポートへは何も接続しないでください。本製品や付属のUSB延長ケーブルを接続している場合は、取り外してから起動する必要があります。



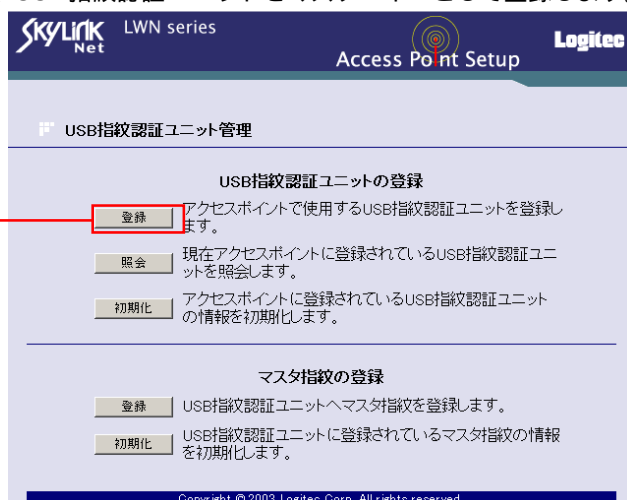
アクセスポイントの設定画面から、左側の設定メニューより「USB指紋認証ユニット管理」のサブメニューを選択してください。

この項目を選択



以下の画面が表示されますので、はじめに「USB指紋認証ユニットの登録」欄の「登録」ボタンをクリックし、USB指紋認証ユニットをマスターキーとして登録します。

このボタンをクリック



以下のメッセージが表示されます。「OK」ボタンをクリックしてください。

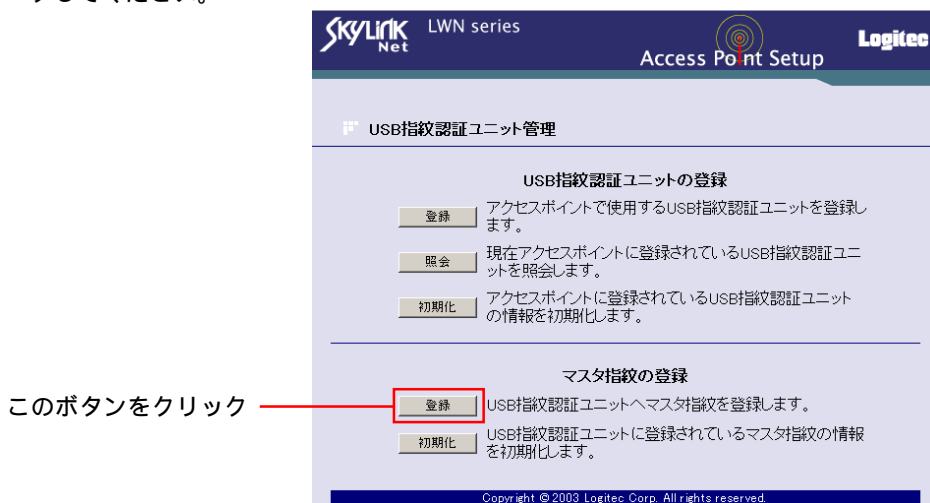


正常に登録されると以下のメッセージが表示されます。「OK」ボタンをクリックしてください。

正しく登録されない場合は、エラーメッセージの内容に従って、接続やUSB指紋認証ユニットの登録状態を確認してください。



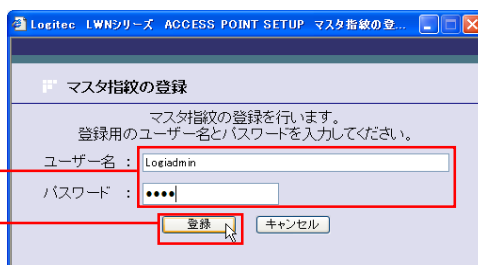
次にマスターの指紋を登録します。「マスタ指紋の登録」欄の「登録」ボタンをクリックしてください。



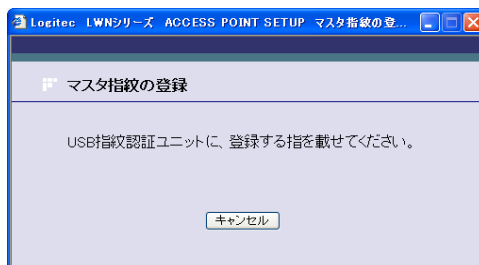
右の画面が表示されます。ユーザー名とパスワードを入力して「登録」ボタンをクリックしてください。

1. ユーザー名、パスワード
を入力

2. 「登録」ボタンをクリック

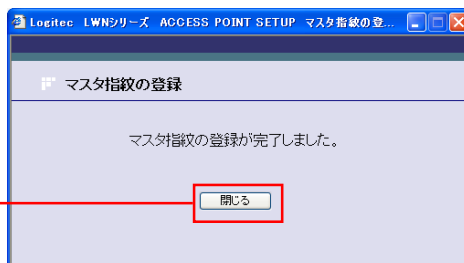


右の画面が表示されたら、USB 指紋認証ユニットのセンサー面に登録する指を乗せてください。この後は画面の指示に従って指紋の登録を行なってください。



正しく登録されない場合は、エラーメッセージの内容に従って、接続やUSB指紋認証ユニットのおよびユニット内の状態を確認してください。

正常に登録されると、右のメッセージが表示されます。「閉じる」ボタンをクリックしてください。



「閉じる」ボタンをクリック

以上でマスター（1）の指紋登録は完了です。これ以降、ユーザーを追加する場合は、パソコン上で行いません。ユーザーの追加手順については次ページ以降をご参照ください。

これ以外にユーザーを追加せずに、指紋認証（BIO）モードで弊社製アクセスポイントの通信設定を行なう場合は、「1.2 指紋認証（BIO）モードでの使用手順」をご参照ください。



参考

マスター指紋が登録されると、弊社製アクセスポイントの指紋認証（BIO）モードで使用可能となる他、パソコン上でUSB指紋認証ユーティリティを起動することができるようになります。

1.1.2 その他のユーザーの追加

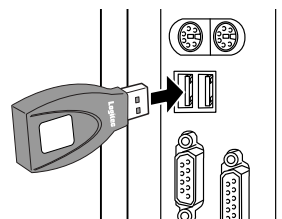
ユーザーの追加は、クライアントパソコンにUSB指紋認証ユニットを接続し、USB指紋認証ユーティリティを起動して行ないます。以下をご参照ください。

USB指紋認証ユーティリティは、事前にインストールしておいてください。

Point ポイント

子キーを作成し、子キー内にユーザーを追加する場合は、「1.1.3 子キーの作成」を参照し、子キーを作成してから、子キーとなるUSB指紋認証ユニットをパソコンに接続してユーザーを追加してください。また、子キーは最初に必ずサブマスターを登録してからゲストを登録する必要があります。

パソコンにUSB指紋認証ユニットを接続してください。パソコンのUSBポートが指紋認証しにくい場所にある場合は、付属のUSB延長ケーブルを使用して接続することも可能です。



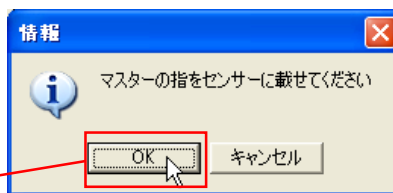
「スタート」 - 「プログラム」(Windows XPの場合は「すべてのプログラム」) - 「Logitech」 - 「USB指紋認証ユニット」 - 「USB指紋認証ユーティリティ」と選択してUSB指紋認証ユーティリティを起動してください。

インストール時にデスクトップ上に作成された、右のショートカットアイコンをダブルクリックしても起動することができます。



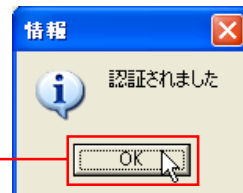
右のメッセージが表示されます。アクセスポイント経由で登録したマスター(1)の指をUSB指紋認証ユニットのセンサー面に載せて「OK」ボタンをクリックしてください。

「OK」ボタンをクリック



正常に認証されると右のメッセージが表示されます。「OK」ボタンをクリックしてください。

「OK」ボタンをクリック



うまく認証されない場合は、センサー面に汚れがないか、指に汚れがないかをよく確認してください。

USB指紋認証ユーティリティが起動し、以下の画面が表示されます。ユーザーの登録は画面右の「登録」タブ内で行ないます。

「登録」タブが選択されていることを確認

参考：

ここに、アクセスポイント経由で登録したマスター(1)が登録されています。



参考

画面内の各項目については「[1.3 USB指紋認証ユーティリティについて](#)」をご参照ください。

「登録」タブ内で「マスター」または「ゲスト」を選択し、ユーザー名、パスワードを入力し、追加するユーザーがどの指で指紋登録をするのかを選択して「登録」ボタンをクリックします。

1. 登録するユーザーを「マスター」または「ゲスト」から選択します。

2. ユーザー名を入力します。

3. パスワードを入力します。(2回)

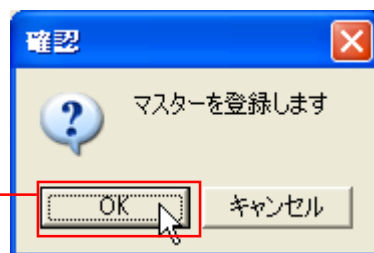
4. 登録する指を選択します。

5. 「登録」ボタンをクリックします。



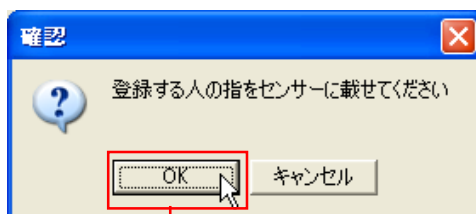
右の画面が表示されます。「OK」ボタンをクリックしてください。

「OK」ボタンをクリック



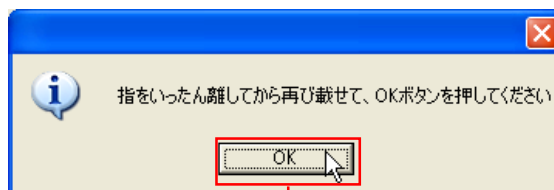
右の画面が表示されます。USB 指紋認証ユニットのセンサー面に登録するユーザーの指を載せ、「OK」ボタンをクリックしてください。

「OK」ボタンをクリック



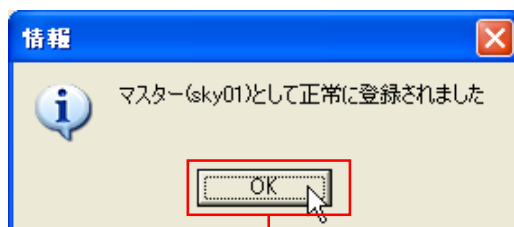
右の画面が表示されます。いったん指をセンサー面から離して、再度載せ、「OK」ボタンをクリックしてください。

「OK」ボタンをクリック




正常に認識されると右の画面が表示されます。「OK」ボタンをクリックしてください。

「OK」ボタンをクリック



うまく登録されない場合は、センサー面に汚れがないか、指に汚れがないかをよく確認してください。

登録が完了するとユーティリティの一覧に登録されます。登録されたユーザーは弊社製アクセスポイントLWN-A54APSで指紋認証を行なえるようになります。



The screenshot shows a window titled "USB指紋認証ユーティリティ(マスターキー)". It has tabs for "登録/管理", "バージョン情報", and "起動方法". The "登録" tab is active, showing a "登録" (Register) section with radio buttons for "マスター" (Master) and "ゲスト" (Guest). Below are fields for "ユーザー名" (Username), "パスワード" (Password), and "パスワード(再)" (Password (re)). To the right are illustrations of hands labeled "L" and "R" with a "登録" (Register) button below them. On the left, there are two lists: "マスター一覧" (Master list) and "ゲスト一覧" (Guest list). The Master list contains two entries: "マスター(1): Logadmin" and "マスター(2): sky01 <右手親指>". The Guest list is empty. Two red boxes with arrows point to the Master and Guest lists, containing explanatory text.

マスターに登録した場合はこの欄に登録されます。
右の例では、
マスター(2)のユーザー名は「sky01」
で、このユーザーが認証に使用する
指は右手の親指であることがわかり
ます。

ゲストに登録した場合はこの欄に登録
されます。

マスターにユーザー登録をした例

- ・子キーを作成したい場合は、「1.1.3 子キーの作成」をご参照ください。
- ・指紋認証の行ない方については「1.2 指紋認証モードでの使用手順」をご参照ください。

1.1.3 子キーの作成

子キーを作成する場合は以下の手順をご参照ください。

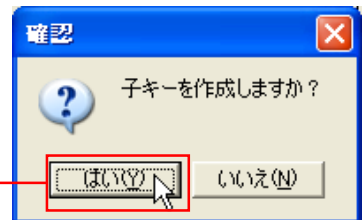
USB 指紋認証ユーティリティの画面
下側にある「子キー作成」ボタンをク
リックしてください。

このボタンをクリック



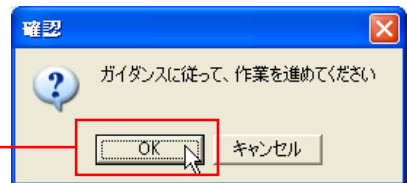
右のメッセージが表示されます。「はい」ボタンを
クリックしてください。

「はい」ボタンをクリック



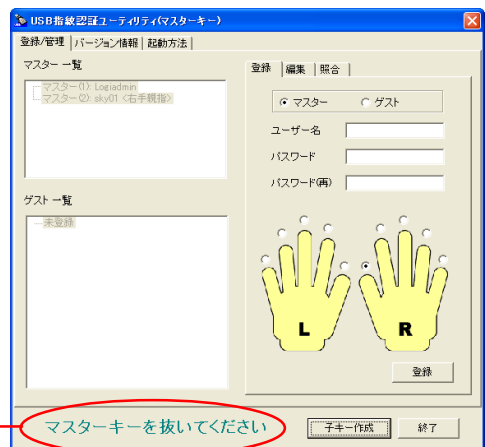
右のメッセージが表示されます。「OK」ボタ
ンをクリックしてください。

「OK」ボタンをクリック



USB 指紋認証ユーティリティの画面
左下側に「マスターキーを抜いてく
ださい」と表示されたらパソコンか
らマスターの指紋が登録されている
USB 指紋認証ユニットを取り外し
てください。

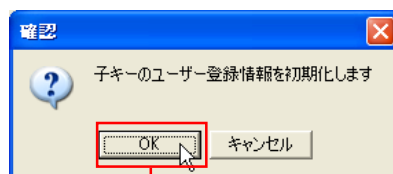
マスターキーを抜いてください



USB 指紋認証ユーティリティの画面
左下側に「子キーを挿してください」
と表示されたら子キーとして使用する
USB指紋認証ユニットをパソコンに接
続してください。



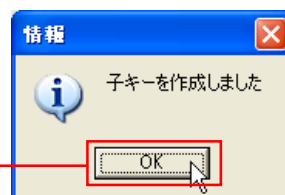
右のメッセージが表示されます。USB 指紋
認証ユニット内にユーザー登録情報がある
場合は、削除されることをご了解の上、
「OK」ボタンをクリックしてください。



「OK」ボタンをクリック

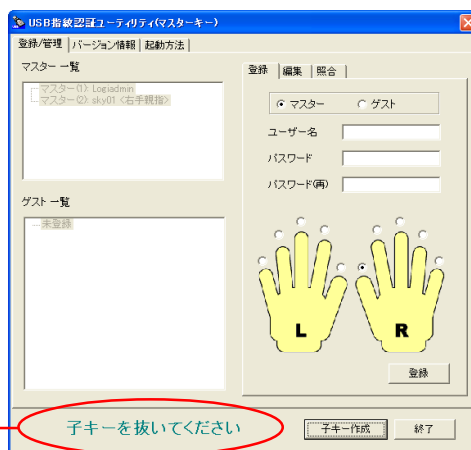
何も設定していない場合、ユーザーの登録情報はUSB指紋認証ユニット内には存在し
ません。

右のメッセージが表示されます。「OK」ボタンをクリック
してください。



「OK」ボタンをクリック

「子キーを抜いてください」と表示さ
れたら USB 指紋認証ユニットをパソ
コンから取り外します。



「マスターキーを挿してください」と表示されたらマスターの指紋が登録されているUSB指紋認証ユニットをパソコンに接続します。

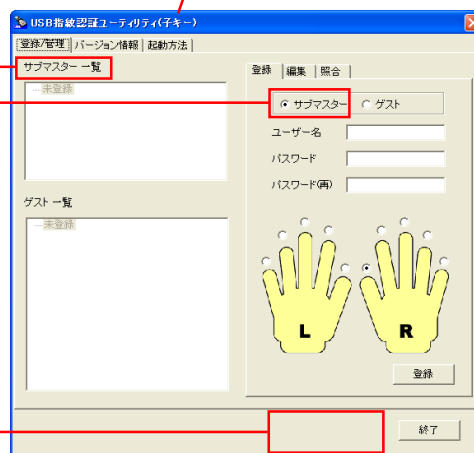


以上で子キーが作成されました。複数の子キーを作成する場合は手順1～8までの作業を繰り返します。

- ・ 子キー作成後、子キーとして登録されたUSB指紋認証デバイスをパソコンに接続してUSB指紋認証ユーティリティを起動すると以下の画面が表示されます。子キーにユーザーを登録する場合は、この画面から行ないます。追加されたユーザーは弊社製アクセスポイントLWN-A54APSで指紋認証が行えるようになります。

ここが子キーとなります

「マスター」ではなく、「サブマスター」となります



子キーから子キーは作成できないので「子キー作成」ボタンがなくなります。

- ・ 子キー内にユーザーを追加する場合の手順は、マスターキー内にユーザーを追加する手順と同じです。「1.1.2 ユーザーの追加」をご参照ください。USB指紋認証ユニットはユニット内に登録情報を保持するので、例えばユニットAに登録された指紋は、ユニットBでは認証されません。子キー内にユーザーを追加する場合は、必ずユーザーを追加したい子キーをパソコンにセットして行ってください。

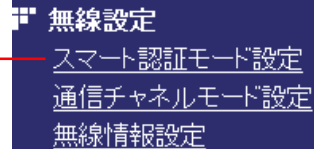
1.2 指紋認証 (BIO) モードでの使用手順

USB 指紋認証ユニットに登録された全てのユーザーは、弊社製アクセスポイント (LWN-A54APS) と弊社製無線 LAN カード (LWN-A54CBS) との指紋認証 (BIO) モードでの認証に使用することができます。

指紋認証 (BIO) モードでご使用の前に - 設定の確認 -

USB 指紋認証ユニットを指紋認証 (BIO) モードでご使用の前に、以下の手順でアクセスポイント側の設定をご確認ください。

アクセスポイントの設定画面を起動し、「スマート認証モード設定」を選択してください。



以下の画面が表示されますので、「スマート認証モードを使用する」が選択され、「指紋認証 (BIO) モードを使用する」のチェックボックスにチェックが入っていることを確認します。チェックが入っていない場合はチェックしてください。

1. この項目が選択されていることを確認

スマート認証モードを使用する

通常モード
電子証明書の有効期限まで通信が可能です。

タイマーモード
一定時間後に通信を切断します。
[0] 時間 [0] 分後に切断

自動切断モード
毎日の指定定時間に切断します。
[0] 時 [0] 分に切断

2. この部分にチェックが入っていることを確認

指紋認証 (BIO) モードを使用する
オプションの USB 指紋認証ユニット (別売) を利用することで認証を強化できます。

アクセシビリティを使用する
スマート認証モードを利用できる PC を限定します。

スマート認証をロックする
PC カードスロットに無線 LAN カードを差しても、スマート認証を起動させません。
ロック中は、一時的にスマート認証が出来なくなります。

手動設定を使用する (IEEE802.11 の手動通信を行う場合に使用します。)

MAC アドレスフィルタを使用する
指定した MAC アドレスを持つクライアントのみ通信が可能になります。

設定

Copyright © 2003 Logitech Corp. All rights reserved.

使用手順

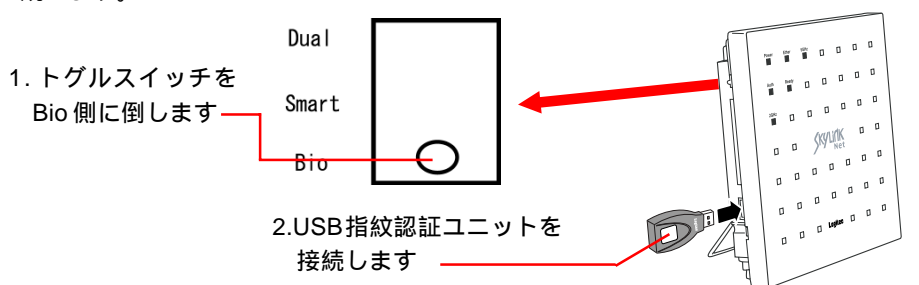


重要なご注意

指紋認証 (BIO) モードで設定を行なう場合、無線 LAN カードをアクセスポイントから取り外す時は、必ずトグルスイッチを、Smart 側に倒してから PC カードのイジェクトボタンを押して取り外してください。

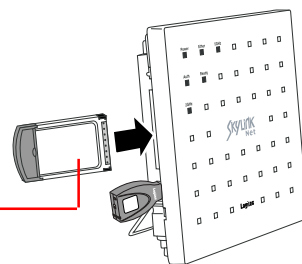
複合通信に設定している場合に、あらかじめアクセスポイントに接続されアンテナの役割をしている無線 LAN カードも同じように取り外してください。

アクセスポイント (LWN-A54APS) の電源が ON になっていることを確認し、トグルスイッチを Bio 側に倒しアクセスポイントの USB ポートへ USB 指紋認証ユニット接続します。



アクセスポイントの Dual/Auth ランプがオレンジ色に点滅したのを確認したらスマート認証を行う弊社製無線 LAN カード (LWN-A54CBS) をセットします。

弊社製無線 LAN カード (LWN-A54-CBS) をセットします。



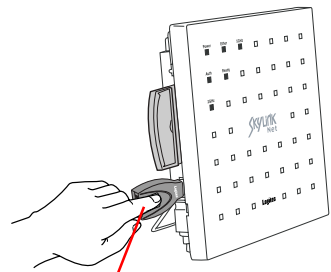
ご注意

Point

- ・トグルスイッチを Bio に倒す前に無線 LAN カードをセットしてしまった場合は、すぐに取り外しを行わず、と Ready ランプが緑色または赤色に点灯したのを確認してから取り外し、再度手順 1 からやり直してください。
- ・ Dual/Auth ランプが消灯している場合は、USB 指紋認証ユニットがアクセスポイントに登録されていない、または正しく認識されていないことが考えられます。再度登録をしておいてください。
複数の設定の異なる弊社製アクセスポイントがある場合、1 つのアクセスポイントで USB 指紋認証ユニットの登録をしても、別の設定のアクセスポイントでは認証に使用できません。これは、パソコンのユーティリティ上で登録を行なった子キーの場合も同じです。

アクセスポイントのReadyランプがオレンジ色に点滅したら、指紋登録してある指をUSB指紋認証ユニットのセンサー面にのせてください。

10秒以上指紋認証を行わないと、Readyランプが赤色に点灯し、指紋認証ができなくなります。この場合は無線LANカードをいったん取り外し、再度手順1からやり直してください。



登録している指を載せてください

指紋が認証されるとアクセスポイントのPowerランプ、Dual/Authランプ、Readyランプ、10M/100Mランプが順番に点滅してスマート認証が行われ、終了するとReadyランプが緑色に点灯します。

認証に失敗した場合は赤色に点滅します。その場合はいったん指をセンサー面から離し、Readyランプがオレンジ色に点滅したら、再度指を載せてみてください。

3回認証に失敗したらReadyランプが赤色に点灯するので、センサー面に汚れがないか確認し、無線LANカードをいったん取り外し、再度手順1からやり直してください。

トグルスイッチをSmart側に倒し、アクセスポイントのPCカードイジェクトボタンを押して無線LANカードを取り外してください。

無線LANカードを通信を行うパソコン側にセットしてください。これでクライアント側から通信が可能となります。

複数のクライアントを認証する場合は1～6の手順を繰り返します。

パソコン側にはあらかじめ無線LANカードのユーティリティがインストールされている必要があります。詳しくは無線LANカードのマニュアルをご参照ください。

重要なご注意

初期出荷時の弊社製アクセスポイント(LWN-A54APS)のユーザーズマニュアルおよび、無線LANカード(LWN-A54CBS)のスタートアップガイドでは、ここで記載された方法と異なる指紋認証の手順が説明されておりますが、指紋認証は本書で説明された手順にて行ってください。

本書の手順に従って認証を行わないと、正しく設定ができない場合があります。

参考

マスターキーや子キーとして登録されていないUSB指紋認証ユニットをアクセスポイントに接続し、トグルスイッチをBioに倒し指紋認証を行おうとすると、Readyランプが赤色に点灯します。

1.3 USB 指紋認証ユーティリティについて

ここではUSB 指紋認証ユーティリティの設定画面で実行可能な各機能について画面ごとにご説明します。

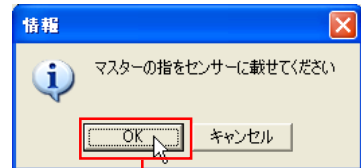
1.3.1 起動と終了

ユーティリティは「スタート」 - 「プログラム」(Windows XP の場合は「すべてのプログラム」) - 「Logitech」 - 「USB 指紋認証ユニット」 - 「USB 指紋認証ユーティリティ」と選択して起動します。

インストール時にデスクトップ上に作成された、右のショートカットアイコンをダブルクリックしても起動することができます。



すでにマスターまたはサブマスターがユニット内に登録されている場合は、右のメッセージが表示されます。接続されているUSB 指紋認証ユニット内にマスターまたはサブマスターとして登録されているユーザーの指をセンサー面に載せて「OK」ボタンをクリックください。



クリック

正常に認証されると、USB 指紋認証ユーティリティが「登録/管理」タブが選択された状態で起動します。

この部分で接続されているUSB 指紋認証ユニットがマスターキーか子キーかがわかります。

USB 指紋認証ユーティリティを終了する場合は、このボタンをクリックします。

子キーを作成したい場合はこのボタンをクリックします。
(「1.1.3 子キーの作成」参照)



参考

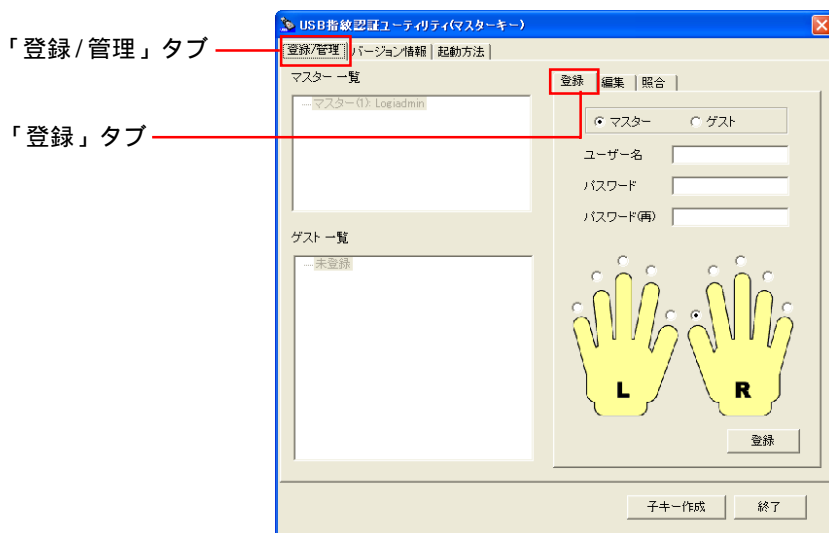
子キーを接続してユーティリティを起動した場合は、「マスター」が「サブマスター」になり、「子キー作成」ボタンが画面に表示されません。

1.3.2 「登録/管理」タブ

「登録/管理」タブからは、ユーザーの登録、登録したユーザーの設定変更、指紋の照合を行なうことができます。

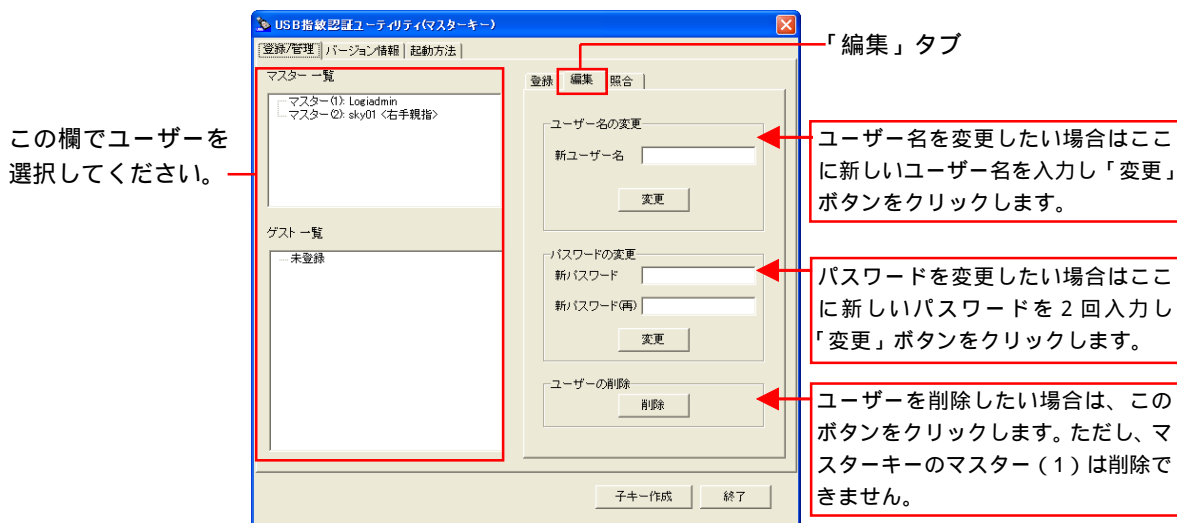
「登録」タブ

ここからはユーザーの登録ができます。
登録方法については「1.1.2 その他のユーザーの登録」をご参照ください。



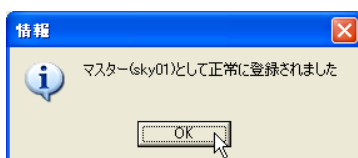
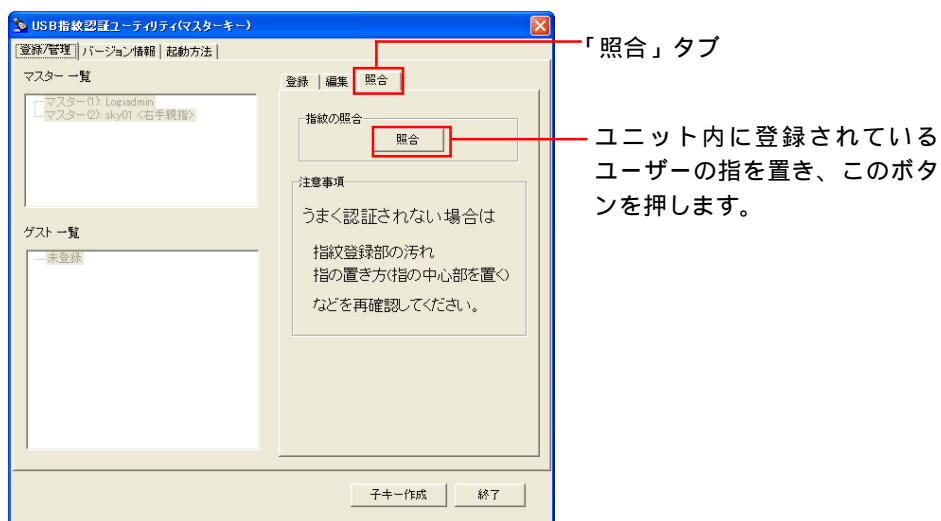
編集タブ

ここからは、ユーザー名の変更、パスワードの変更、ユーザーの削除が実行できます。
いずれの場合も、左側の一覧からユーザーを選択して、行ってください。



照合タブ

ここでは、接続されているUSB指紋認証ユニットに登録されている各ユーザーが、自分の指紋を照合することができます。ユニットのセンサー面に登録に使用した指をおき、「照合」ボタンを押すと、どのユーザーの指が認証されたかのメッセージが表示されます。アクセスポイントにて指紋認証がうまく行かないときに、指の置き方の練習にご使用ください。



成功した場合には表示されるメッセージの例



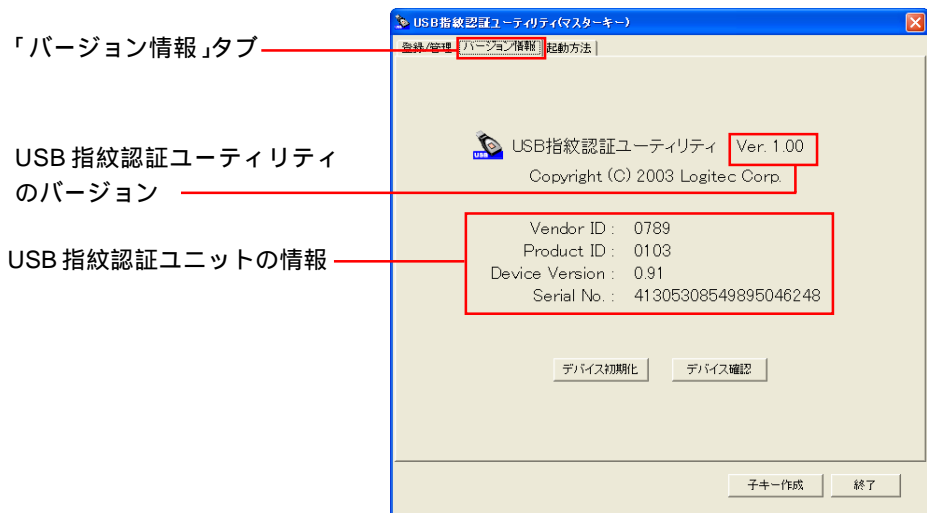
失敗した場合は「認証失敗」と表示されます。

Point ポイント

うまく認証されない場合は、センサー面や指に汚れがないか、指のおき方に問題がないかをご確認ください。

1.3.3 「バージョン情報」タブ

「バージョン情報」タブでは、USB 指紋認証ユーティリティおよび、ユニットの情報の確認と、設定情報の初期化、デバイスの認識確認を行なうことができます。



「デバイス初期化」「デバイス確認」

画面下部にある「デバイス初期化」ボタンをクリックすると、USB 指紋認証ユニットの設定情報が保存されている領域が初期化されます。この場合、登録された指紋データが消去されるのでご注意ください。また、このボタンをクリックしても一般領域は初期化されません。一般領域の初期化は、OS 標準のフォーマット機能を使用して行ってください。

デバイス初期化

「デバイス確認」ボタンは、USB 指紋認証ユニットが正しく接続されているかを確認するために使用します。正常に認識されている場合、このボタンを押すと「正常に認識されました」と表示されます。

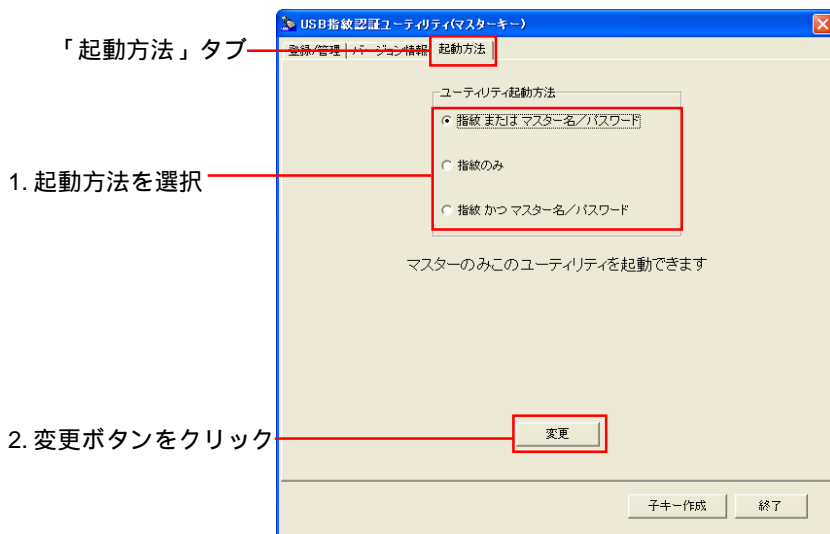
デバイス確認

1.3.4 「起動方法」タブ

「起動方法」タブでは、USB 指紋認証ユーティリティの起動方法を以下の3つの方法から選ぶことができます。

- ・指紋またはマスター名/パスワード
ユーティリティの起動時に指紋による認証を行い、認証に失敗した場合は、マスター名とパスワードによる認証を行いません。どちらかで認証が成功すればユーティリティが起動します。
- ・指紋のみ
ユーティリティの起動時に指紋による認証を行います。指紋がうまく認証されなければ、ユーティリティは起動しません。
- ・指紋かつマスター名/パスワード
ユーティリティの起動時に指紋およびユーザー名とパスワードによる認証を行います。指紋とマスター名パスワードが一致しなければユーティリティは起動しません。

設定は中央のラジオボタンで行い、「変更」ボタンをクリックします。次回ユーティリティ起動時から有効になります。



参考

USB指紋認証ユーティリティは、マスターまたはサブマスターのみ起動することができます。

2 . 簡易認証時の使用方法について

弊社製アクセスポイント (LWN-A54APS) と他社製無線 LAN クライアントとの通信を手動設定で行なう場合、USB指紋認証ユニットにあらかじめインストールされている「Logitech Connection Helper」を使用して、MAC アドレス、SSID、暗号キーの入力をサポートします (簡易認証機能)。ここでは、簡易認証を行うための手順をご説明します。

簡易認証でご使用の前に - アクセスポイント側の設定 -

USB指紋認証ユニットを使用し、簡易認証で通信を行なう場合は、以下の手順でアクセスポイントの設定を行なってください。

アクセスポイントの設定画面を起動し、「スマート認証モード設定」を選択してください。

無線設定
スマート認証モード設定
通信チャネルモード設定
無線情報設定

以下の画面が表示されますので、「手動設定を使用する」を選択し、MAC アドレスによるユーザーの管理を行なう場合はその下の「MAC アドレスフィルタを使用する」にチェックを入れて、「設定」ボタンをクリックします。

1. この項目が選択します

2. 必要に応じて、チェックを入れます

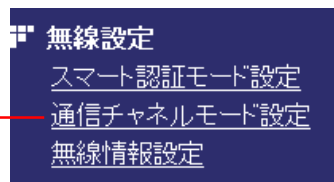
3. 「設定」ボタンをクリックします



ご注意

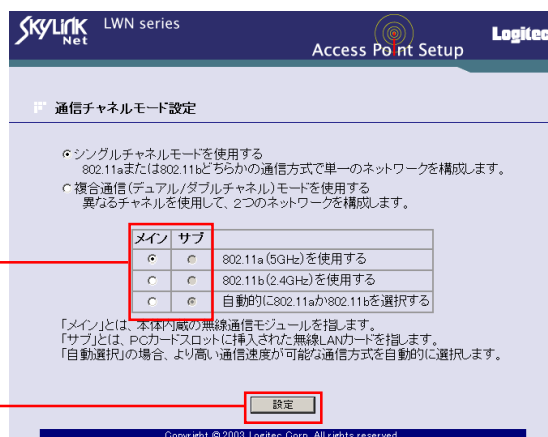
手動設定による通信と、スマート認証モードでの通信は同時には行なえません。すでにスマート認証モードで無線ネットワークを構築しているときに、設定を手動設定に変更すると、それまでスマート認証でアクセスしていたクライアントは通信ができなくなるのでご注意ください。

次にメニューから「通信チャンネルモード設定」を選択してください。



以下の画面が表示されます。通信を行なう方式を802.11aまたは802.11bに設定して「設定」ボタンをクリックしてください。

1. この部分を802.11aまたは802.11bどちらかに設定します



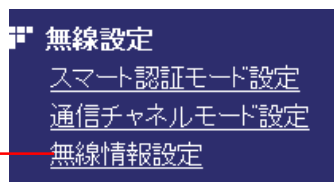
2. 「設定」をクリック



重要なお注意

- ・ USB指紋認証ユニットを使用して簡易認証を行なう場合、**通信方式は必ず802.11aまたは802.11bに固定してください。**「自動的に802.11aか802.11bを選択する」に設定していると、ユニットに設定情報を出力する際に、正しい設定情報が出力されない場合があります。
- ・ 複合通信で手動設定を行なう場合も、両方のチャンネル(メインとサブ)の通信方式を固定してください。この場合、メインとサブの通信方式を異なるもの(片方が802.11aであればもう片方が802.11b)に固定する必要があります。

次にメニューから「無線情報設定」を選択してください。



以下の画面が表示されます。SSIDを変更する場合は入力し、暗号化方式、暗号化キーの入力形式を選択し、キー生成ボタンをクリックし、設定が終わったら「設定」ボタンをクリックします。

1. SSID を設定

2. 暗号化方式、キーの入力方式を選択

3. 「キー生成」ボタンをクリック

802.11bに固定した場合は、こちらで設定します。

4. 設定ボタンをクリック

以上で、アクセスポイントの手動による通信設定は完了です。次ページの「簡易認証の手順」へお進みください。

Point

ポイント

- ・ 複合通信にて設定した場合は、上の画面に「サブ設定」という欄が追加されます。サブ設定で設定する項目も、上の手順で説明したメインの設定と同じです。
- ・ ネットワークに参加する無線 LAN クライアントに AES 未対応のものがある場合は WEP にて設定を行なってください。

参考

参考：メイン設定 / サブ設定とは

アクセスポイント内部にあるアンテナを使用し通信を行なう設定がメインの設定となります。これに対し、複合通信時にアクセスポイントに装着した弊社製無線 LAN カード (LWN-A54APS) をアンテナとして使用する設定がサブとなります。

簡易認証の手順

簡易認証は以下の手順で行ないます。

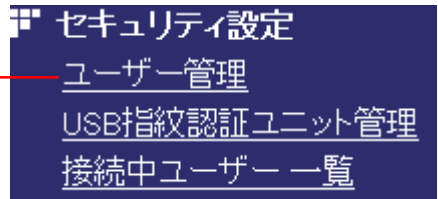


参考

「Logitech Connection Helper」はあらかじめUSB指紋認証ユニットのリムーバブルディスク（Windows XPでは「指紋認証」）としてマイコンピュータ上からアクセスできる領域にインストールされています。

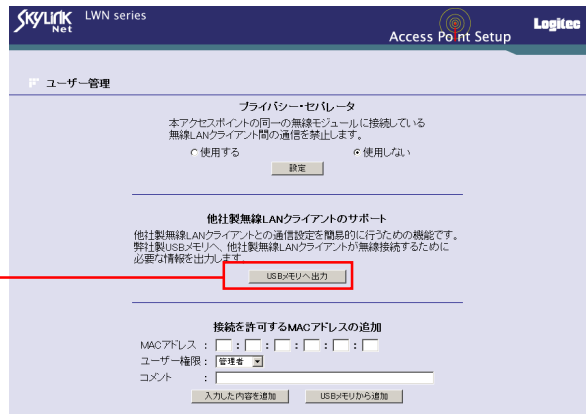
アクセスポイントの設定画面から、左側の設定メニューより「ユーザー管理」のサブメニューを選択してください。

この項目を選択



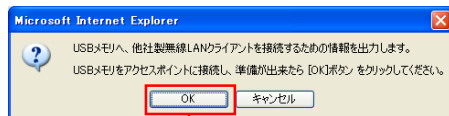
以下の画面が表示されますので、「USBメモリへ出力」ボタンをクリックしてください。

このボタンをクリック

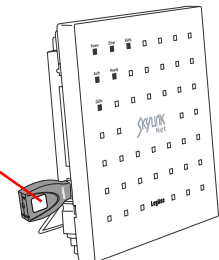


以下のメッセージが表示されたら、弊社製アクセスポイント(LWN-A54APS)のUSBシリーズAポートへUSB指紋認証ユニットを接続して「OK」ボタンをクリックしてください。

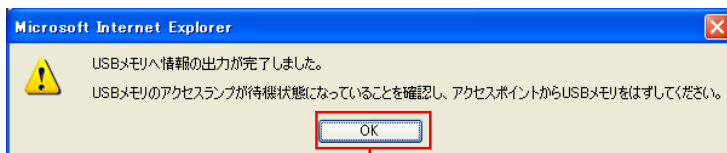
アクセスポイントへは、付属のUSB延長ケーブルを使用して接続することも可能です。



アクセスポイントにUSB指紋認証ユニットを接続して「OK」ボタンをクリック



以下のメッセージが表示されたら、USB指紋認証ユニットのアクセス表示ランプが赤色に点灯していることを確認してから、USB指紋認証ユニットをアクセスポイントから取り外し、「OK」ボタンをクリックしてください。

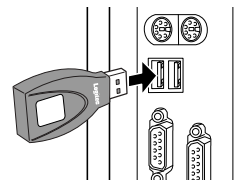


アクセスポイントから USB 指紋認証ユニット
を取り外して、「OK」ボタンをクリック

⚠️ ご注意

- ・「MAC アドレスフィルタを使用する」に設定をしている場合は、再度アクセスポイントの設定画面から設定を行ないますので、まだ、設定画面からログアウトする必要はありません。
- ・アクセスポイントを起動する場合は、USBポートへは何も接続しないでください。本製品や付属のUSB延長ケーブルを接続している場合は、取り外してから起動する必要があります。

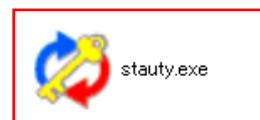
パソコンにUSB指紋認証ユニットを接続してください。
パソコンのUSBポートへも、付属のUSB延長ケーブル
を使用して接続することが可能です。



⚠️ ご注意

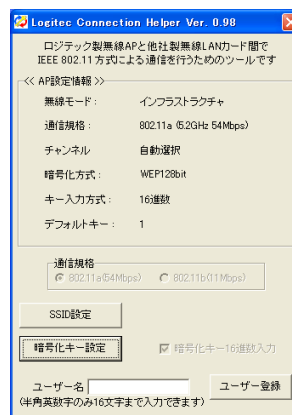
Windows 98 Second Edition をご使用の場合、あらかじめ付属の CD-ROM より「USB 指紋認証ユーティリティ」がインストールされていなければ、USB指紋認証ユニットが正常に認識されません。また、インストールされていない場合は、同梱のUSB指紋認証ユニットのユーザーズマニュアルをご参照の上インストールを行なっておいてください。

マイコンピュータ上から、リムーバブルディスクのアイコン(Windows XPの場合は指紋認証のアイコン)を開き、表示されるファイルの一覧から「stauty.exe」とファイル名が
ついたアイコンをダブルクリックしてください。

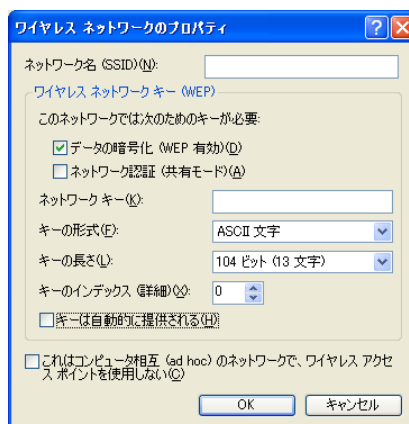


このアイコンをダブルクリック

「Logitech Connection Helper」が起動します。



次に、ご使用の無線 LAN カードのユーティリティを起動して、SSIDと暗号キーを入力する画面を表示させてください。

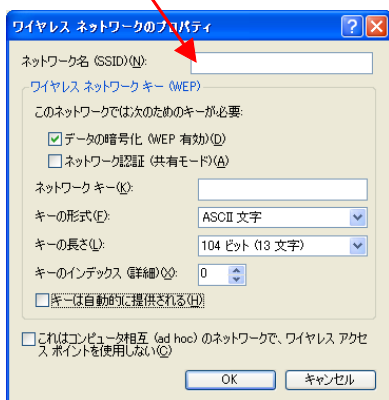


Point

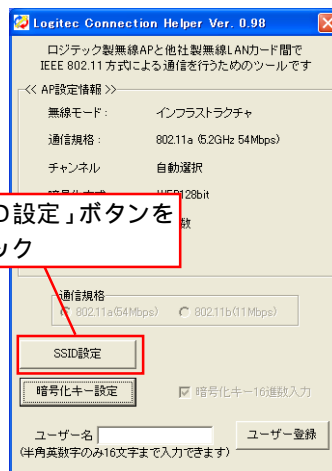
- ここではWindows XPのワイヤレスネットワークの設定画面を例にご説明します。SSIDや暗号キーを入力する画面はご使用のユーティリティにより異なります。詳しくは、ご使用のユーティリティの説明書をご参照ください。
- Windows XPで上の画面を表示させるには、「ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ」より、「ワイヤレスネットワーク」タブを選択し、「優先するネットワーク」欄で「追加」ボタンをクリックします。

他社製ユーティリティ上で、SSIDを入力するテキストボックスにマウスカーソルを合わせてクリックし、「Logitec Connrctoion Helper」の「SSID 設定」ボタンをクリックしてください。

1. テキストボックスにマウスカーソルを合わせてクリック



2. 「SSID 設定」ボタンをクリック

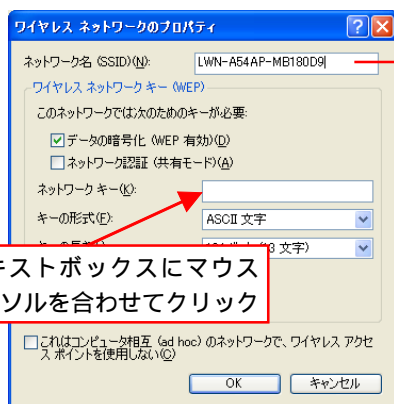


他社製ユーティリティの画面例

Logitec Connrctoion Helper の画面

SSIDが自動入力されます。次に、暗号キーを入力するテキストボックスにマウスカーソルを合わせてクリックし、「Logitec Connrctoion Helper」の「暗号化キー設定」ボタンをクリックしてください。

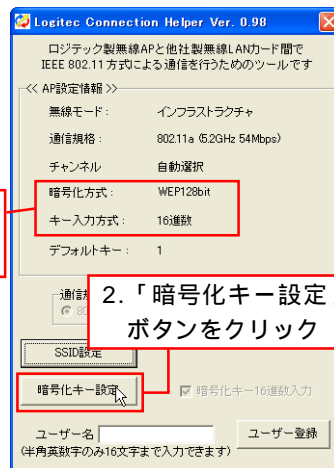
アクセスポイントを複合通信に設定している場合は「 補足事項」を参照して通信に使用する規格を選択してください。



自動入力されます

他社製ユーティリティの設定も、この設定と同じにしてください!!

1. テキストボックスにマウスカーソルを合わせてクリック



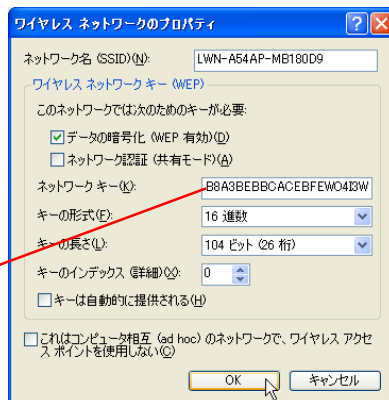
2. 「暗号化キー設定」ボタンをクリック

Point ポイント

- ・ 暗号化キーはご使用のユーティリティにより、「WEP」「ネットワークキー」等と表示されます。
- ・ 他社製ユーティリティ上での暗号化方式とキーの入力方式の設定は「Logitec Connection Helper」の設定に従ってください。

暗号化キーが自動入力されます。アクセスポイント側でMACアドレスフィルタが有効になっていない場合は、これで通信が可能となります。
有効になっている場合は次へお進みください。

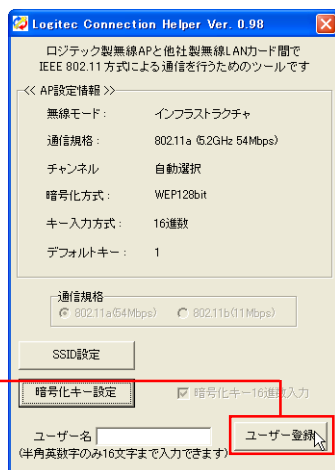
自動入力されます



他社製ユーティリティの画面例

アクセスポイント側で「MACアドレスフィルタを使用する」に設定している場合は、次に「Logitech Connection Helper」の画面で「ユーザー登録」ボタンをクリックしてください。

「ユーザー登録」ボタンをクリック



Logitech Connection Helper の画面



参考

ユーザー名の欄にユーザー名を入力すると、アクセスポイントの「ユーザー一覧」のコメント部分に反映されます。

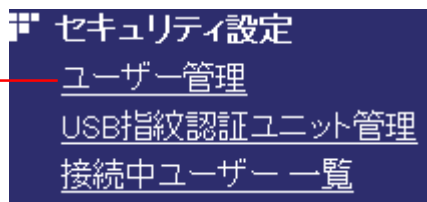
右の画面が表示されます。「OK」ボタンをクリックしてUSB指紋認証ユニットを取り外してください。



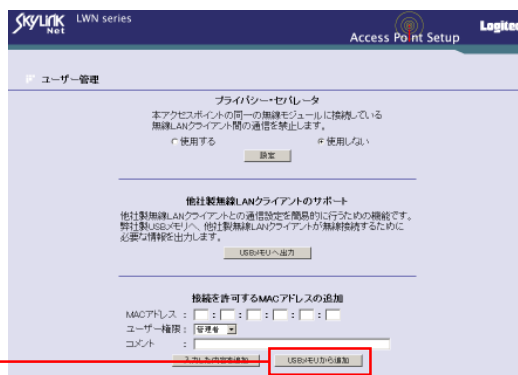
クリック

再びアクセスポイントの設定画面を起動し、左側の設定メニューより「ユーザー管理」のサブメニューを選択してください。

この項目を選択

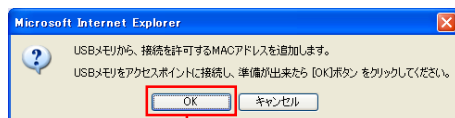


以下の画面が表示されますので、「接続を許可するMACアドレスの追加」欄の「USBメモリから追加」ボタンをクリックしてください。

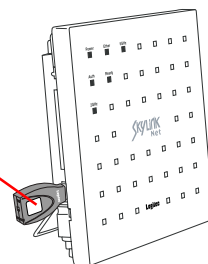


このボタンをクリック

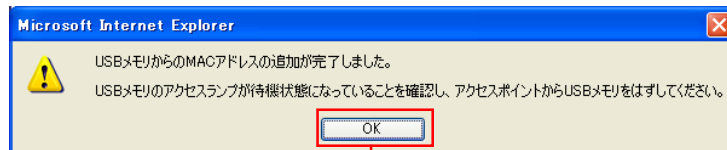
以下のメッセージが表示されたら、弊社製アクセスポイントLWN-A54APSのUSBシリーズAポートへUSB指紋認証ユニットを接続して「OK」ボタンをクリックしてください。



アクセスポイントにUSB指紋認証ユニットを接続して「OK」ボタンをクリック



以下のメッセージが表示されたら、USB指紋認証ユニットのアクセス表示ランプが赤色に点灯していることを確認してから、USB指紋認証ユニットをアクセスポイントから取り外し、「OK」ボタンをクリックしてください。



アクセスポイントからUSB指紋認証ユニットを取り外して、「OK」ボタンをクリック

これで、他社製の無線LANカードを使用して通信が可能となります。

補足事項

複合通信に設定している場合、Logitech Connection Helper の画面上で通信規格の欄がアクティブになります。

使用する無線 LAN カードが参加するネットワークの通信規格を選択してください。

